



上北沢桜並木通信 第 18 号



平成 21 年度「総会」が開催されました - 5月2日(土) -

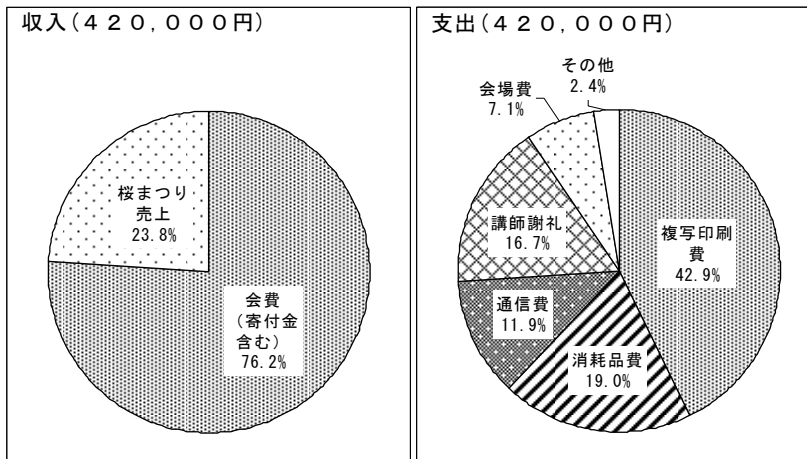
平成 21 年度桜並木会議の総会が開催されました。

●日時：5月2日(土) 14:00~16:00 上北沢区民センター

○平成 20 年度決算と平成 21 年度予算が承認されました。



平成 21 年度予算案



○新しい役員が決まりました。

代表には佐藤信二郎さん(上北沢4丁目)、副代表に石井昭さん、野口松子さん(いずれも上北沢3丁目)です。

○会則を変更しました。活動方針は以下のとおりです。

上北沢桜並木会議は桜並木の将来にわたる維持保存活動を目的に設立されました。私たちはこの活動を軸にして、地域が抱える様々な問題を皆で考え、正しい情報を発信し、また安全で住みやすい街、人と人の絆を大切にする街にしていくため、地道な活動を推進して参ります。

[活動等]

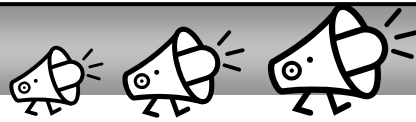
- ・桜並木の維持保存のための活動
- ・地域住民の声を広く集めるコミュニケーションの場の形成
- ・桜並木の清掃活動や地域振興のための各種活動との連携
- ・情報の発信
- ・安全で住みやすい街、人と人の絆を大切にしていくための活動



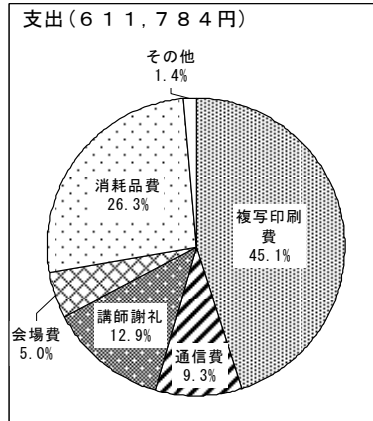
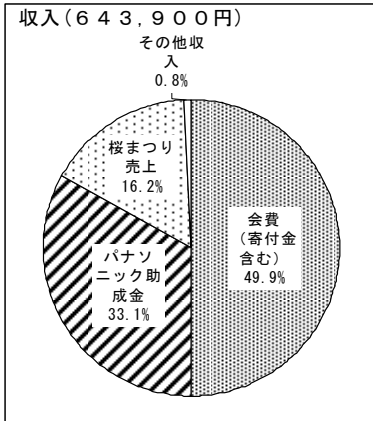
○自由討議で以下のような意見が出ました。

- ・京王線の立体化に合わせた街づくりの検討を進めるにあたり、桜並木を縦断する位置にある都市計画道路 215 号のことを考えていかなければならない。
- ・地域憲章・景観を考えるプロジェクトは、「上北沢緑もうひとつの会」として新たに組織化され発足した。「桜並木会議」との違いは、構成員、性格、外部団体との関わり等であるが、協力できるところは協力してやっていきたい。
- ・町の人に育てられたこの桜並木の保全を第一義的に考えて、地域のコミュニティの形成を計っていききたい。
- ・桜を中心とした上北沢には愛着がある。街の歴史や、言い伝えを大切にしていきたい。
- ・区の「絆再生プロジェクト」の補助を受けて発行した「レッツ上北沢まちあるき」をいろいろなところに配布している。非常に評判がよいので今後の活用を考えていきたい。

20年度の活動報告



平成20年度決算報告



世田谷区「地域の絆再生支援」
補助金(別会計)
(単位:円)

(支出の部)	実際の支出
街歩き小冊子印刷代	235,200
文具用紙等消耗品	49,060
物品費(影絵作成材料)	90,007
合計	374,267

収入:(区から)300,000円

支出:不足分は本会計から補てん

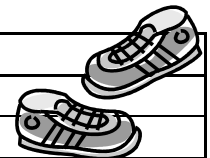
桜並木保全・維持管理

月	活 動
4月	桜の清掃(地元の皆様も参加)
5月	余分な枝切り(ひこばえ剪定)
9月	桜の実態調査とセミナー
9~12月	落葉清掃(地元の方々はじめ、上北沢小、福音寮の皆様参加)
2月	花芽観察とセミナー
3月	ソメイヨシノ接ぎ木作業



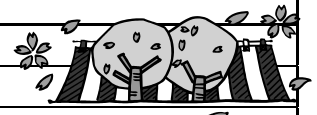
街とともに・・・

月	活 動
5月	街歩き その2(『古府中道と滝坂道』(上北沢~粕谷))
5~3月	駅周辺まちづくり懇談会へ参加
10月	街歩き その3(『北沢用水の流れをたどり、上北沢4、5丁目から甲州街道へ』)



広報活動

月	活 動
3月(前年度)	桜まつりに展示・出品参加
11月	区民センター文化祭に展示と影絵DVDで参加
12月	世田谷区「第3回生涯現役フェア」に出展参加 「絆再生支援事業」の一環である「烏山地域交流会」に参加



その他

月	活 動
10月	「地域のさくらを守る さくらサポーター入門講座」へ参加(千代田区千鳥ヶ淵緑道)
11月	無農薬野菜を育てる「キューピー五霞工場」を見学
3月	NHK総合テレビ「夕どきネット」の取材→放映 FM世田谷の取材
通年	区の絆再生支援補助金により、街歩き小冊子「レッツ上北沢まちあるき!」を出版 上北沢路上禁煙推進活動に参加



新旧代表のごあいさつ



前代表：和田 和典

5月2日の総会をもちまして、上北沢桜並木会議の代表を辞することになりました。

2004年3月に、「上北沢桜並木会議」が、「烏山ネットわあーくショップ」から、風景資産の上北沢桜並木を守る別組織として、行動を開始致しましたが、区からの助成金を申請する必要上から「代表」を決める事に為り、その時点での年嵩で有った小生が選ばれた訳です。柄でもない小生が、殆どお付き合いもなかった方々を、一つの有機体として纏めて行かねばならない事は、能力を超えた大変な作業を要求されましたが、幸いな事に、其々素晴らしい意欲と能力を持った方々に支えられ、烏山ネットわあーくショップの方々や区の好意のご支援も得て、何とか大過無く務めさせて戴けたことは、皆様の御蔭と深く感謝申し上げます。



20年12月
絆再生支援
事業交流会時

後任と致しましては、5年間共に上北沢桜並木会議をもり立ててきた佐藤信二郎さんを推薦し、快く、引き受けていただき、総会の承認も戴きました。本会のさらなる発展に必要な広範な知識・視野もお持ちである事から、必ずご尽力戴けるものと確信致します。

長い間のご厚情に御礼を申し上げるとともに、皆様の一層のご発展を祈念し、辞任の挨拶とする次第です。



新代表：佐藤 信二郎

このたびの総会において、前代表 和田和典さんの後任として、会員の方々から上北沢桜並木会議の代表に選ばれました。皆様のご希望に沿うよう陰日なた無く、会の発展に力を尽くすつもりです。

これからは、まずは、5年間の基礎に立ち、桜並木の守る活動の質を高め、活動の輪をより広範囲に広げていくことであると思います。桜を仲間と共に守っていく大切さを、子供から老人まで、広めるばかりでなく、世田谷区、日本全体に広めて行きたいものです。そして、更に、町のシンボルである桜並木を再生することは、桜並木＝町＝町の歴史、を再生することであると5年間の活動で気が付かせてくれました。その意味で、桜並木を中心として、人と人の絆を大切にしながら、仲間と共に、集まり、議論し、町の発展に貢献して行くつもりです。






21年2月 花芽観察会時

上北沢地域住民の皆様を始め、上北沢町会、商店会、学校関係者、世田谷区の職員の皆様、また、石井樹木医をはじめ、樹木医会の方々、諸先生方、日本花の会、関東の主要な桜守のお力添えを切にお願い申し上げます。

今年度の活動予定



活動予定	内 容
「親子さくら博士教室」<さくら基礎講座> (7～9月) 	ソメイヨシノ60年説を超え、なお美しい花を咲かせ続けているのは、人の手で守り育ててきたからです。 世代を超えて愛着をもってこれからも維持していくために、若い人達に桜のことを良く知ってもらう必要があります。 この講座は、小学生とその親を対象に7～9月に3回開催する予定です。
街歩き歴史探索 (10月)	
上北沢区民センター文化祭 (11月)	展示と影絵DVDで参加予定
例年と同じ活動 ・落葉清掃 (9～12月) ・実態調査とセミナー (9月) ・花芽観察会とセミナー (2月) ・上北沢桜まつり参加 (4月)	▶週2回、ご近所の方とともに行います。 ▶一本一本の桜木のカルテを見直します。 ▶広報活動の一環として展示等で参加します。
他地域との交流 	・福島県岳温泉 (最初に上北沢の街づくりを行った人=木村泰治氏は、岳温泉を復興し、繁栄の礎を築いた。岳温泉には上北沢桜並木と同じような桜並木がある。) ・東京都国立市、小金井市等の桜守
その他 	今年は桜並木下の水道工事が予定されています。桜並木を傷めないように見守っていきます。

桜並木会議は、皆様の会費や区や企業からのバックアップによって運営されています。

しかし、今年度は区の補助金を伴うプロジェクトに参加しないことや、昨今の経済情勢から企業の地域活動支援を受けることが難しい状況です。

そのため、皆様のご協力をぜひともよろしくお願いいたします。

上北沢桜並木会議とは？

上北沢駅前の桜並木は、80年余前に開発された住宅地に植えられ、その後、地域のシンボルとして、地元の人々に親しまれながら、近代化の時代の流れの中を生き抜いてきました。

桜並木を中心とした街区は、昭和59年には「せたがや百景」に、平成14年には「世田谷風景づくり条例」に基づく「地域風景資産」に、選ばれています。

桜を大切にすることを種として生まれた、上北沢桜並木会議は、地域のコミュニティとしての役割を果たすことをめざしています。月の第1・4日曜日に行う日曜ミーティングと、鳥山総合支所からもご出席いただいている月1回の月例会における話し合いをもとに活動しております。

お問い合わせ：info@sakuranamiki.org

連絡先：佐藤信二郎 FAX:3290-2660

- 桜並木会議では、会員の数を増やし、地域のコミュニティとしての役割を果たすことをめざしています。桜並木会議が行う行事・日曜ミーティング(月の第1・4日曜10～12時 区民センター)等に、是非ご参加下さい。
- 桜並木会議では、活動資金のご協力をお願いしています。
- 桜並木会議の活動状況は、HP (<http://www.sakuranamiki.org/>) に出ていますので、ご覧下さい。